



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第1回「ねりまの森について知ろう」

日時：令和5年4月9日（日） 9:30～12:30

会場：区民・産業プラザ（ココネリ3F） 研修室1

今回の講座の流れ

令和5年度の「ねりまの森維持管理コース」が開講しました。第1回は、講座全体のオリエンテーション後、ねりまの憩いの森の制度や形態と、森のお手入れ作業における安全管理について学びました。

各プログラムの様子



森の活動に関わったきっかけや学びたいことについても共有しました。



ねりまの森は、人々との暮らしと密接に関係し、生活を支えています。



安全管理の確認や勉強は、繰り返し行うことが重要です。

オリエンテーション

1年間で学ぶ講座の趣旨や、内容を聞いた後、参加者の自己紹介を行い、森に関わったきっかけや、講座で学びたいことなどを共有しました。

その後、憩いの森の区民による自主管理制度導入の目的や森の現状や課題、自主管理契約の流れ、区による憩いの森の管理について、区の担当職員から説明を受けました。

ねりまの森の概要

団体が管理している憩いの森や緑地、講座実習地等の事例を通して、ねりまの森の歴史や地形・種類・植生について学びました。また、まちなかの森の効能や課題についても学習し、私たちが森と関わることで、森の効能を引き出すことや、課題の解決等に繋がるということを確認しました。

安全講習

安全安心に活動するための8項目（①危険予知 ②服装 ③危険な生物確認 ④体調管理 ⑤現場の状況確認 ⑥気象情報 ⑦作業中の声掛け ⑧道具の管理・取扱い）について、5つのポイントと事例を参考にしながら学びました。

ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

今回のキーワード

「誰か」の安全は「自分」の安全ではない

（みどりのまちづくりセンター）

「安全」と思う基準が、みんな同じであるといいのですが、「安心」や「不安」といった主観が入ることで、同じではなくなります。よって自分の身を守るためには「安全」は誰かに作りだしてもらうのではなく、「自分自身」で作ることが大切です。自分の五感を信じ、自分で確認した安全が、信頼できる「安全」です。

森でみつけた！

植物観察会



春は植物が一斉に成長し花を咲かせる季節です。練馬区の憩いの森や緑地の地面では、東京では珍しくなってきた植物や、貴重な植物をみることができます。種類によっては気温の上昇と共に地上部から姿を消すものもあります。森の植生は、管理方法や気候等で変わるので、毎年森の状況を確認するためにも、春に一度、団体の皆さんで植物の観察会を行うのはいかがでしょうか。